

1 目的

(1) 豊かで思いやりのある子の育成

自尊感情や自己肯定感の向上を基盤に、共感的に学び合う集団作りを基本とし、児童と教師、児童同士の間に関心の通った信頼関係を深めます。居心地のよい学校・学級づくりを推進するとともに、地域に愛着をもたせ、将来の地域を担う人材育成を図ります。

(2) 命から学び、命を守り、命を尊ぶ

学校・家庭・地域と連携・協働し、自他の命を尊重し、思いやりをもち、健康で安全な生活を送ろうとする生き方を涵養します。

(3) 授業力向上を図る

校訓「かしこく やさしく たくましく」に向けて、コロナ禍を経て、萎縮感のある子どもたち・教職員たちが「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学び」「協同的な学習」を進めるために、学ぶ機会を設定したり、外部の力を活用したりします。

2 内容

(1) 豊かで思いやりのある子の育成

ア スリンプル（スリムでシンプル）プログラムの推進（全学年）

ソーシャルスキルトレーニングと構成的エンカウンターを融合したスリンプルプログラムを全校体制で推進することで、自尊感情と自己肯定感を育み、豊かな個人と集団の育成を図りました。

7月と1月に講師として曾山和彦氏を招聘し、研修会を行いました。取組状況に対してのご指導やご助言をいただき、多くの学びを得ることができました。研修会のあとも何人もの職員が個人的にアドバイスを求める姿があり、職員のこの活動に対する熱意と学びへの高い意欲を感じることができました。



【スリンプルプログラム研修】

イ 異学年集団（青空グループ）の活動（縦割り活動）

協調性や社会性を養うため、全校児童を12のグループ（青空グループ）に分け、1年間活動を行いました。

顔合わせ時に行う遊び、除草や石拾いなどの清掃活動、運動会の種目としての綱引き、お世話になった方々への感謝状作りなど多岐にわたる活動を通して、児童相互のつながりを深めるとともに、集団の一員であるという自覚や愛校心の醸成を図りました。

ウ ハッピートーク出前授業（5年）

6月には、ハッピートークアカデミー協会の方を講師にお招きして、前向きな言葉を積極的に用いることで、人間関係が円滑になることを学びました。12月と1月には、オンライン朝礼も行い、学びを深めました。

エ 篠田っ子見守り隊への感謝状の作成（縦割り活動）

毎日登下校を見守ってくださっている見守り隊の方々へ、日頃の感謝の気持ちを伝えようと感謝状にしてお渡ししました。メッセージに加えて、思い思いの絵や貼り物をして仕上げた感謝状は大好評で、地域との絆を深めることができました。

(2) 命から学び、命を守り、命を尊ぶ活動

ア 命を尊ぶ活動

① 金魚の飼育（全学年）

金魚を大切に世話することで、生き物に対して慈しむ気持ちや思いやりの気持ちを育ててきました。日々の世話は、飼育委員会が行い、夏休み期間は、ボランティアを募り、多くの親子に楽しんで世話をさせていただきました。

イ 命を守る活動

① 交通安全教室（1・2年）

6月に1・2年生を対象に愛知県警交通安全チーム「あゆみ」の方を講師にお招きして、交通ルールを守った安全な歩行について学びました。

② 不審者対応訓練（職員）

7月に職員を対象に警察署員の方を講師にお招きして、不審者対応訓練を行いました。不審者に遭遇した際、どのように対応するとよいのか、また職員全体の動きはどうすればよいのか、さらに刺股の効果的な使用法など教えていただきました。

③ 防犯教室（3年）

9月に3年生を対象にママプラスの方を講師にお招きして、キッズ防犯教室を行いました。「自分の身を守るためにはどうしたらよいか」をテーマに様々な身の守り方について学びました。

ウ 健康増進活動

① 食育活動（全学年）

児童が、一生涯にわたって健やかに生きていく基礎をつくるため、食事の重要性や栄養バランスの知識や食べ物を大切にする感謝の心について学年に応じて学びました。

中でも6年生は、栄養教諭の兼子先生をお招きして、弁当における栄養バランスについてご指導をいただき、「弁当の日」に向けてのメニュー作りに役立てることができました。

② 保健師による睡眠指導（職員、保護者）

2月に七宝保健センターの保健師中島先生をアドバイザーにお招きして、学校保健委員会を行いました。中島先生からは、睡眠の質が、児童の心身の健康につながり、さらには児童の成長に大きく影響を及ぼすため、とても大切であることを教えていただきました。

エ 命を育む活動

① ジャガイモとサツマイモの栽培（1～4年、なのはな）

地域の農業委員さんの協力を得て、ジャガイモとサツマイモの植付と収穫を体験させていただいています。

イモの栽培活動は、児童にとって土に触れる貴重な体験であり、楽しみな活動でもあります。特に、収穫時は、たくさんのイモを手にして、どの子の目も輝いていました。収穫後は、調理して地の恵みに感謝していただきました。

(3) 授業力向上を図る

ア 水泳指導の充実（全学年）

児童たちの安全・安心な水泳の技術向上と教職員が自信をもって水泳指導を行えるよう、6～7月に、伊藤先生とルネサンスの方を講師にお招きました。実際に児童に指導しながら、児童への水泳指導方法を実践形式で教えていただきました。



【講師による水泳の授業】

イ 特別支援教育の充実（全学年）

児童の特性を理解し、個に即した対処・対応を行うことは、教育効果をあげるためにも大切なことです。定期的に来校していただく学校教育相談員の加藤万佐子先生や上田知子先生には、学校生活の様子を見ていただき、担任と情報交換を行ったり、ご指導やご助言をいただいたりしました。

3 評価

今年度も外部の講師の方々をお招きしての様々な活動により、児童および教職員が多様な体験を積むことができ、考えを広げたり、自分を見つめ直したりすることができました。

今年度新たにスリンプルプログラム研修を始めたことにより、「スマイルトーク」を通して、児童の自尊感情や自己有用感を高めるとともに、教職員の児童理解力や人間関係調整力も高めることに全校あげて意識して臨むことができたことが、大きな成果となりました。

4 課題

共感的に学び合う集団、心豊かな個人と集団の育成は、昨年度に引き続き取り組んでいくべき大きな課題です。「スマイルトーク」を核に、来年度も篠田小学校の一人一人の心を育てるために、教職員が一枚岩となって力を注いでいきたいと考えています。